

S S T L

NO. 63 2019. 4. 19

職場参加ニュース

記念シンポジウムの前に、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会の2019年度定期総会を開催します。

定期総会 13時～13時50分 (事業報告、決算報告、監査報告、事業計画案、予算案、役員改選)

会場は同じ越谷市障害者就労訓練施設しらこぼとです (越谷駅東口より朝日バス増林バス停下車)

共に働く職場・地域

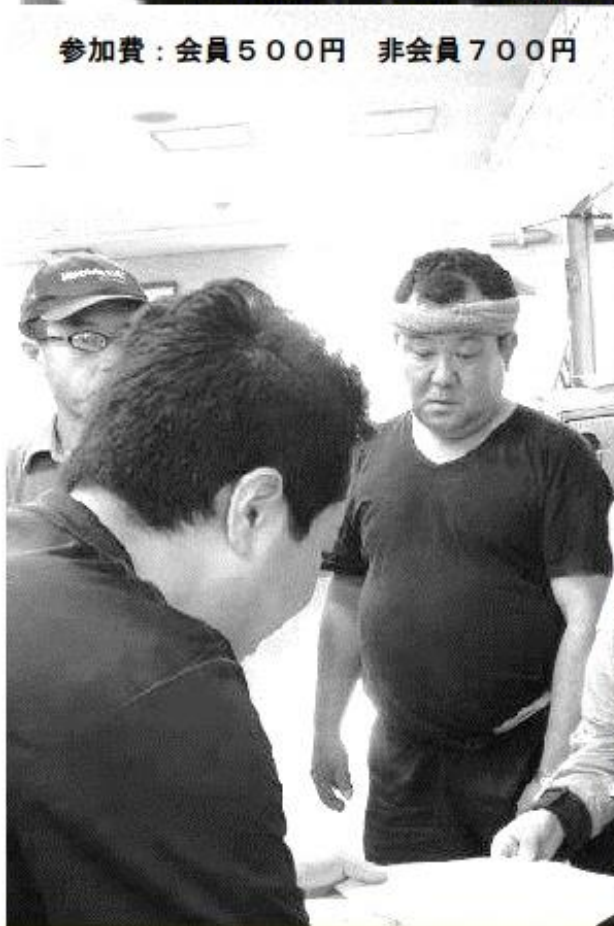
—そこで問われる関係と施策とは?

NPO法人障害者の職場参加をすすめる会総会記念シンポジウム

6月2日(日)14:00～

会場:越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと
〒343-0011 越谷市大字増林5830-4

参加費: 会員500円 非会員700円



【パネルディスカッション】パネリスト・尾谷英一さん(陣ニューオタニ社長)、伝田ひろみさん(さいたま市議、障害者の政治参加全国ネット代表)、青柳榮子さん(ワーカイズコープ・センター事業団エリアマネージャー)、労働組合関係者、支援機関(打影中) コメンテーター・越谷市障害福祉課、越谷市人事課(以上依頼中)、コーディネーター・朝日雅也さん

主催: NPO法人障害者の職場参加をすすめる会

後援: 越谷市(依頼中)、春日部市(依頼中)

連絡先: 〒343-0023 越谷市東越谷1-1-7 須賀ビル 世一緒

048-964-1819(FAX共・7回コール要)

shokuba@deluxe.ocn.ne.jp HP: <http://www.syokubasanka.com/yoisyo.html>

共に働く職場・地域—そこで問われる関係と施策とは？ 開催要項

1. 名 称：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会総会記念シンポジウム
テーマ「障害者が共に働く～職場・地域で何が起こり、何が問われるか」
2. 内 容：昨年度は夏から秋にかけて、省庁・自治体での「障害者雇用水増し問題」がつつぎと明らかになり、当会関係者にもマスコミからの取材があいつぎました。その中で、当会が特に強調したのは、かつて1960年に身体障害者雇用促進法ができた時、民間が努力義務とされたのに対し省庁・自治体は義務とされ、その後も民間より高い雇用率が設定されてきたことは何のためだったかについてでした。報道を見る限り、だれもがこのことを当然とみなし、それにふれてはいません。ただ、今後の対応策として、単なる「数合わせ」ではいけないことに関しては、多くの人々が一致していました。たしかに発足時の状況は「障害者雇用義務」を民間に対しては「努力義務」、そして省庁・自治体では「義務」とし、いわば「数合わせ」を行うことが民間に対して「範を示す」ことでした。しかし、その後60年近くが経過し、産業・雇用構造は大きく変化し、とりわけ今世紀に入ってから、課題は多くありながらも民間大・中企業での雇用が広がり、国・自治体の就労支援施策がそれを後押ししてきました。こうした激変の中で、省庁・自治体が民間に「範を示す」ことが問われており、だからこそ「数合わせ」ではいけないと私たちは言っているのです。では、どのようにあるべきなのか。まず必要なことは、民間大・中企業での障害者雇用の伸びが、必ずしもさまざまな障害者が他の人々と共に働く関係にはつながりきれないことや、かつて雇用義務とは無関係に障害者と共に働いてきた地域の小・零細企業が苦境に追い込まれてきたこと、さらに障害者の範囲が拡大したことや、福祉施設だが雇用契約を結ぶ就労支援A型事業所が制度化されたことなど、激変の実態と課題を明らかにすることです。それらの民間企業や福祉施設等で障害者和其他の人々がどのように出会い、つきあいを重ねているか。雇用や福祉の制度は、どう役立っているか。その中から共に働く関係を育めるのか、これから省庁や自治体はどのような支援策を用意できるのか。省庁や自治体は職場であると同時に産業、雇用、福祉をはじめとする諸施策の主体でもあります。それらを踏まえて「範を示す」ことができる存在なのです。昨秋から今春、各省庁・自治体で進めてきた雇用の経験も、そこに生かしたいものです。今回のシンポジウムでは、そんな意味での遠近法を駆使して、みんなで考え合いたいと思います。
2. 日 時：2019年6月2日(日) 14:00～16:30(受付:12:50～)
4. 会 場：越谷市障害者就労訓練施設しらこぼと (〒343-0011 越谷市大字増林 5830-4)
5. 会 費：会員500円 非会員700円(資料代)
6. プログラム
パネルディスカッション：
パネリスト：尾谷 英一さん(株ニューオタニ社長)
伝田ひろみさん(さいたま市議、障害者の政治参加全国ネット代表)
青柳栄子さん(ワーカーズユープ・センター事業団エリアマネージャー)
労働組合関係者(打診中)
支援機関(打診中)
コメンテーター：越谷市障害福祉課(依頼中) 越谷市人事課(依頼中)
コーディネーター：朝日 雅也さん(埼玉県立大学社会福祉子ども学科教授)
手話通訳(予定) 駐車場は予約をお願いします
7. 主 催：NPO法人障害者の職場参加をすすめる会
〒343-0023 埼玉県越谷市東越谷 1-1-7 須賀ビル 101 職場参加ビューロー・世一緒内
8. 後 援：越谷市 ・ 春日部市(予定)



ゆず ゆず わたし こわ なに
譲れないもの、譲ったら私が壊れるものは何か

せんげん台「世一緒」所長 高瀬勇

就労移行「世一緒」の窓から

1年経っても、いまだに価値観の違いが大きすぎてどう折り合ったらいいか、分からないでもがいている。就労支援の経験の差で片付けて欲しくないで、少し思いを書く。

プロフェッショナルに対する考えが違うようなのだ。「私はあなた(利用者)のことをあなた以上に分かっているから、あなたの悪いようにはしないから」というメッセージに違和感がある。このメッセージは「私についてきなさい」というメタメッセージになる。

私は「私の看護はズレているかも知れない」と、当事者に訊ねることを心がけてきた。私が間違っていることを勘定に入れて看護してきた、対人援助に正解はないからだ。

私は『「立場」は違っても関係は「対等」です』と利用者に言う。

私たちが「指導者」や「訓練者」という立場で臨むなら、利用者は断ることも苦情も言えない。こちらから対等な関係を目指さない限り利用者は「嫌」とは言えない。

対等な関係は、利用者を分かるよりも信じることから始まる。何を信じるのかと聞かれれば、いろいろな壁を乗り越えて「世一緒」に来た事。並々ならぬ決意と思いを抱いて、健常者と呼ばれる人たちの3倍はエネルギーを使って、ストレス8眠れなかつたりへとへとになったり)と戦いつつここに通いつけている事だ。

だから、私は「指導者」ではなく、「^{ばんそうしゃ}伴走者」になりたい。



すいごごカフェの持続と社会的共有のための
語る・聴く・暮らし 検証プロジェクト協力会員募集

◇これまで「語り」を奪われてきた人々の「語り」を中心に、ほかに身近な地域に暮らす人々の「語り」を、一緒に「聴く」場として、すいごごカフェを持続させる。

◇「語り」の記録をその都度SNSやHPで発信し、マスメディアが伝え、編んでゆく社会像からは捨象されてきたさまざまな人々の「暮らし」の社会像を伝え、編んでゆく。

◇日本型格差社会が深まり、さまざまな支援策と表裏一体で個人情報保護が広がり、悩みつつ生きる人間が見えづらい現状に対し、「語る」・「聴く」支援を提案し、具体化してゆく。

◇単年度で約40回の「語り」の記録の総集編を主とした「年誌」を発行し、上記の〈さまざまな人々の暮らし〉の社会像)及びそれを編む過程に欠かせない〈「語る」・「聴く」支援〉の具体化のための資料として発行する。

当会会員以外の方へ!

2019年度「語る・聴く・暮らし 検証プロジェクト協力会員を募集します!

協力会費: 4000円 協力会員になっていただいた方には、2018年度年誌(A4判・50ページ)としらこぼと笛をお送りするほか、職場参加ニュース、世一緒NOW(各年4回程度発行)をその都度お送りします。

会員の方へ: 2000円以上のご協力費に対して年誌と笛をお送りします。



すいごごカフェ 5/8~6/5 1時半のゲスト



③

認知症者と共に

5月8日(水)
平野 栄子さん
介護保険相談支援員

2025年の高齢者数が3657万人中認知症者の日常生活自立度Ⅱ以上470万人と推計され新オレンジプランが発足する中100歳の母と暮らす日常からの問題提起は。

自転車旅の毎日

15日(水)
山脇 雅史さん
元世一緒障害者スタッフ

昨年夜都内を自転車で走行中、トラックに追突され瀕死の重傷を負ったが、加害者と友達になりロードバイクで毎週ツーリングするなど、世界を広げる日々を語る。

憲兵だった父が遺したもの

22日(水)
倉橋 綾子さん
Lunch Café どっこいしょ
安政法制違憲訴訟共同代表

亡くなる直前に父は中国の人々へのお詫びの言葉を墓に刻んでくれと紙を手渡した。教員を早期退職し中国へ心の傷をみつめる旅に出かけた先で出会ったのは。

未 定

29日(水)
未 定

この日はせんげん台西ロイオン並びの就労移行支援「世一緒」で行います

生きて転んで働いて

6月5日(水)
柴田美恵子さん
地活パタパタ通所者

高校を出て働いた食品工場でてんかん発作で吐いてしまいクビに。市場の菓子問屋で力仕事し「なかまのつどい」にも関わる。現在生活ホームもんでん入居

すいごごカフェ/Lunch Café どっこいしょ

すいごごカフェ(第1、2、4、5水曜)もLunch Café どっこいしょ(第3水曜)も、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会が主催する誰でも参加できるひろばです。Lunch Caféは12:00からキッチンとまとのカレー(コーヒー付き300円)が食べられます(要予約)。どの日も13:30~15:00 ゲストトークがあります。街で生きる障害のある人ない人、いろんな人が語ります。気軽にお立ちより下さい。人に歴史あり、街にドラマあり。048-964-1819(世一緒)